

# やませみ 通信



(やませみは興津川の清流のシンボルです)

## 川のセミナー !! 川の中にはどんな魚や虫がいるの



今年度の川のセミナーには、川崎市からも参加があり、興津川と多摩川との交流を深め、互いの川の違いなどを知ることが出来ました。

NO. 32

平成 22 年 3 月

- 3月 清流のうた音楽会
- 8月 川のセミナー
- 9月 クリーン作戦
- 10月 視察研修
- 11月 森林探検隊

### 目次

- 1 森林探検隊
- 3 鮎の友釣りの極意 !!
- 5 視察研修報告  
『東京大学富士演習林』
- 7 第 14 回 川のセミナー  
興津川の生き物の特徴は  
何? よく見よう!
- 9 興津川クリーン作戦を  
終えて 2009/9/ 5
- 10 自然の中での遊びと教育
- 11 「清流のうた音楽会」  
開催報告

再生紙を使用しています。

# 森林探検隊 ～森のゲームとコンニャクづくり体験～

みどり情報局静岡（通称：S-GIT（エス・ジット）） 計良俊哉

## 嶺の子山荘（S-GITの研修所）へ集合

平成21年11月21日AM9:00。総勢17名の親子が、元気いっぱいに「嶺の子山荘（S-GITの研修所）」に集まりました。初めての参加で緊張していた子どもたちも、ちょっと変わった準備体操で気持ちも体もほぐれました。

## コンニャク芋のアク体験・・・ヒリヒリ!!

本日の遊びのメニューである「コンニャク作り」。スタッフの白井さんから説明があり、コンニャク芋の味見。あまりのアクの強さに口の中は「ヒンリヒリ」。皆の困惑に満ちたコンニャク顔と悲鳴。こんな芋からコンニャクが？「もう二度とコンニャク芋は食べません」と誓いました。

## 開会のあいさつと森の役割についての説明



## できあがったコンニャクに興味津々



## 楽しく森遊びフィールドへ

遊びのフィールドに移動のため、山荘の裏山に入ります。山道の途中、数箇所自然の標本を掲示して「ビンゴクイズ」をしながら登ります。「トカゲのミイラ」「シカの歯」「クスサンのまゆ」などなど初めて見た子供もいて驚きと笑いの数々。苦しい坂道も楽しみながら遊びのフィールドまで登ることができました。

## 森の中で食料隠しゲーム・・・

一旦ちょっと休憩して、フィールドに「人工物を隠しそれを見つけ出す」ゲームをしました。2チームに分かれて、1チームは人工物の隠し役。別のチームは探し役でその場を離れて「どんぐり」などの話を聞きました。それを2チー

## 今日のお昼のコンニャクづくりについての説明



このコンニャク芋から、あのコンニャクが出来るのです。

何でも掘って食べるイノシシもこのコンニャク芋だけは食べません。

それは、生ではエゴくてとても食べられないからです。それを食べられるようにする人の知恵はたいしたものなのです。



ム交互に行いました。両チームとも完全に探し出すことはできませんでした。

「ホオジロと密猟者ゲーム」は、「<sup>だるま</sup>達磨さん転んだ」のS-GITバージョンです。スタッフ4人と参加者1人が覆面を着けて密猟者になりました。森林には色々なものがあり、色々な役目をしているんだね。皆、ノリノリで最高でした。

### できたてのコンニャクと猪鍋で昼食

昼食は、山荘です。皆、それぞれに薪を集めて囲炉裏に火を起こし、あったかいイノシシ汁を食べました。今回も猪肉を提供していただいたのは、清水区大平の石垣昌平さんです。ありがとうございました。あのエゴかったコンニャク芋から出来たおいしいコンニャクとともにおいしく食べることができました。

午後からゲーム再開。山に棲む動物たちの話を聞きました。動物たちはどんな歩き方をし

### いろりを囲み、暖かいイノシシ鍋で食事



イノシシを捕まえるオリを見学



るのか。狩りをする動物は、自分の気配を消す為にどんな工夫があったかな？ゲーム仕立てで楽しく遊ぶことができました。

また、イノシシの<sup>おり</sup>檻も見学しました。

### 竹の伐採体験

一旦ちょっと休憩して、竹の伐採をしました。ノコギリの使い方が分かりました。S-GITスタッフの指導で上手に伐採出来ました。

### 森の中で遊んで楽しく過ごしましょう

最後に、ドングリをばら蒔いて、ドングリ拾いもしました。その拾ったドングリは持ち帰り、鉢に埋めて大きく育てて、来年持ってきて下さい。市民の森か嶺の子の山に植えましょうね。

今日は、メニュー盛りだくさんで、大いに楽しんで貰えたと思います！

S-GITは、「環境教育」なんて恐れ多いことはできません。皆でワイワイ遊ぶこと！それだけです。宮澤賢治も「・・・これらのなかには、あなたのためになるところもあるでせうし、ただそれつきのところもあるでせうが、わたくしには、そのみわけがよくつきません。・・・けれども、わたくしは、これらのちいさなものがたりの幾きれかが、おしまひ、あなたのすきとほつたほんとうのたべものになることを、どんなにねがふかわかりません。」というように、S-GITのスタッフの気持ちも同じです。また今度、皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

嶺の子山荘住人 やまねこ 拝

### 森の中に増えている竹を伐採しました



# 鮎の友釣りの極意 !!

興津川保全市民会議 事業委員長 望月 誠一郎

今年は、前日に大雨が降ってしまいアユ釣り教室が中止になりました。今回は、アユの特性を利用したアユ釣りの話しをします。

## 例年の鮎釣り教室



## 5月20日、東日本最初にアユ釣り解禁

興津川は、毎年5月20日に東日本で最初に鮎釣りの解禁になる鮎釣りの川として全国に知られています。興津川非出資漁業協同組合は、鮎の他に、うなぎ、にじます、あまご、おいかわ等を種苗放流し、その遊漁の漁業権を持っています。

## 鮎の友釣り

鮎釣りは、針にえさを付けて釣るのではなく、鮎の持つ性質を利用した「友釣り」という方法で釣る漁法です。友釣りには、他の釣り方と全く違う醍醐味と奥深さがあります。

## エサ場を縄張りにする習性を利用した釣り

鮎は、稚魚の時には海にいて、春になると川を遡り上流に向かいます。そして、きれいな川で美味しいエサをいっぱい食べて成長した鮎は、秋になり下流に下り卵を産んで一生を終えます。

鮎は石に生えた珪藻（ケイソウ）というコケ類をエサにしています。成長のためには食料であるエサ場の確保がとても大切で、コケが生えている石の周辺を縄張りにします。

そして、縄張りへ外部から鮎が侵入してくると猛然と体当たりして、自分の縄張りから追い出すという習性があります。

## 川のセミナーの時に見本に釣った鮎（水槽の中）



## 鮎釣り道具

鮎釣りは、野鮎のいる川中までおとり鮎を誘導するため、8 mから10 mの長い竿を使います。

穂先からおとり鮎までを道糸といますが、特に鮎を水中で泳がせる糸は、できるかぎり水圧を少なくするため、ハイテク技術で開発されたナイロンや合金の極細のものを使います。

また、野鮎が少しでも触れれば掛かってしまうように針先を研ぎすました鋭い釣針を2本から3本付けます。

## 友釣りの仕掛け

鮎の友釣りは、「おとり鮎」の尾の方に釣針を付け、野鮎の縄張りに侵入させ、体当たりしてきた野鮎から尾を振り逃げるときに引っ掛ける釣りです。このような鮎の性質を利用した釣り方は、世界でも類を見ない日本独特の釣り方です。

例年鮎釣り教室に合わせて釣っておいて食べる鮎の塩焼きは、川のセミナーで食べました

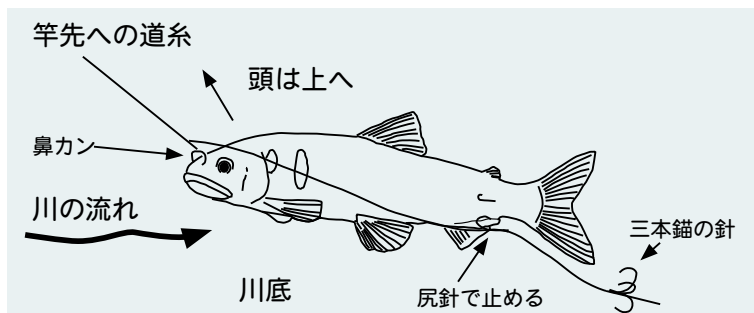


## 背針りという仕掛け

鮎釣りの仕掛けは、釣り人の秘密の技が一杯詰まっています。その一つに「背針り」というのがあります。

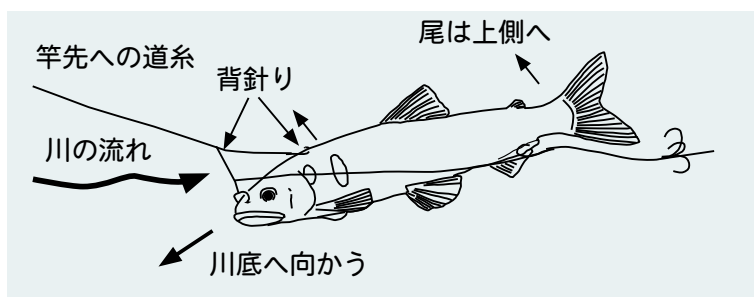
基本的な仕掛けは、下の図のように鮎の鼻に鼻カンという輪を付け、前方は竿先に向かう道糸に繋がれ、後方は尾びれに向かう釣り針が付けられます。

この仕掛けにより鮎を導くのですが、流れの早い場所などで強く引いたりすると顔が水面に向いてしまい、浮かんで来てしまいます。顔を下に向かせるために、オモリをつけて強引に沈ませる人もいます。



それに対して、次の図の「背針り」では、小さな針とテグスを鼻カン（環）の先につけ、鮎の背中に取り付け、背中を引き上げるようにします。すると、鮎は必然的に頭が下向き、今度は水の抵抗を受けて深く潜って行きます。

すると、深いところに縄張りを持つ鮎に突進していくわけですから、野鮎はこれはまずいと縄張りから追い出そうと体当たりをしてくるのです。このようにいろいろ考え、上手に釣れるように日々努力しているのです。



魚と人との知恵比べが鮎釣りでは行われているのです。あなたも鮎釣りにチャレンジしてみませんか。

## 鮎釣りの極意!!

鮎は、日本各地の清流の河川で釣ることができます。そのため、鮎釣り名人は日本全国におり、日々技術を磨いています。その極意は、それぞれの名人の秘中の秘です。

名人は、季節、河川の大きさや川の流れ具合、川の中の石の状態、鮎の成長状態などを見極め、その時その時の状態で釣り方を変えます。

おとり鮎を扱う友釣りは結構難しく、初めて釣りにいって1匹も釣れなかったという人も多いです。でも、あきらめずに何度か通うと釣れ始めます。経験が一番の極意かもしれません。

ここでは、とても大事なことを上げます。

### ①縄張りを持った鮎がいるところを釣る

- ・鮎のエサ場である、黒いコケの付いた大きめの石のある周辺を釣る。
- ・季節、一日の時間、瀬・淵・滝などの川の流れと水中の石の状態、他の人が釣った後か前か、などを見極めて釣る。

### ②元気なおとり鮎で釣る

- ・元気なおとり鮎でないと縄張りを持つ野鮎のいるところに行ってくれませんし、野鮎も相手にしてくれません。
- ・したがって、手に入れたばかりのおとり鮎を大切に扱います。そして、野鮎が釣れたらすぐに替えます。おとりが元気なうちに次の鮎を釣ることが重要です。

### ③釣り針は新しく、よく切れるものを使う

- ・鮎が針に少しでも触れたら掛かるように鋭く切れの良いものを使うことも重要です。
- ・釣り針の種類はとて多く、経験により自分の好みの針を見付けます。

## ルールを守って楽しい鮎釣りを

川遊びをする場所と鮎を釣る場所を使い分けルールを守って楽しみたいものです。

また、釣り糸や針などは絶対に川に捨てたりしてはいけませんし、ゴミなども必ず持ち帰り、みんなで気持ちよく過ごせる興津川にしましょう。

## 視察研修 『東京大学富士演習林』

興津川保全市民会議 会員 鈴木 和子

### 山中湖の東京大学富士演習林へ

秋晴れに恵まれた10月29日、総勢28名による貸切バスで一路「東京大学富士演習林」を目指して出発しました。東名清水ICから御殿場へと過ぎていくうちに空気も冷ややかになり、両サイドの紅葉も真っ盛りに。11時には予定通り、山中湖を望むパノラマ台に到着。その後、湖近くの日本料理「華や」にて熱々のホウトウの昼食を済ませ、13時には山中湖村役場の駐車場に着きました。

#### 山中湖を望むパノラマ展望台



### 山本清龍先生の案内で演習林へ

少し待っていると、ニコニコと笑顔の男性が現れました。その方が演習林を案内しながら講義を下される山本清龍先生でした。

センターの門楼には「東京大学院農学生命科

#### 山本先生の歓迎のあいさつ



学研究科附属科学の森教育研究センター」とあり、長くていかめしい。それにひきかえ山本先生は初対面とは思えぬ気さくさで、立木を前に優しく解説して下さいました。

「ここは標高1,000mほどの寒冷地で真冬には1mを超す積雪に見舞われます」とのこと。黄葉の季と相まって明るいカラマツ林が樹冠を占めている。この演習林では約110種の樹木があるという。高地での登山を思っていた私だったが、実になだらかな斜面で、落葉の蓄積した地面は殊に足裏に優しい感触でした。

### QRコード(バーコード)で解説

先頭の山本先生が立ち止まって指す方向をみると、演習林内に点在する看板にQRコード(バーコード)が印字されている。携帯電話でQRコードを撮影するとインターネットにアクセスでき、周辺の演習林の解説が表示されるという。試してみようと思ったが携帯電話の操作に自信がなかったので、QRコードではなく先生の解説に耳を傾けた。「紅葉が美しい樺(ハゼ)の木だが、人が触れると皮膚がかぶれるのは、自ら身を守る手段なのです」という。なるほど、なるほど。

### 山中寮内藤セミナーハウス

この演習林のほぼ中間地点に7月に開寮したばかりの新しい山中寮内藤セミナーハウスが建っていた。以前の山中寮は大正14年に建設され、建設当初、帝大の学生達が木の根を掘り、土を運び、土木工事に汗を流したという。貴い

#### 7月に開寮した山中寮内藤セミナーハウス



歴史を経て、現代では考えられないことだと痛感した。

山中寮で小休止している時、視察に参加されていた養蜂家の鈴木さんが「ミツバチが少なくなってしまった」という話をして下さった。外来種の花が増えてしまい、在来種が減ってしまったとのこと。思い当たることがあった。我が家の藤棚の藤が咲き始めると、蜜蜂の群がやってきて労働歌のように羽音をたてながら花から花へと飛び交っていたが、その光景が見られないまま花が散ってしまったのだ。こうした現象も環境と無関係とは考えられない。

### 人間と自然との共生が大切

山本先生の懇切な説明に、人間と自然がいかに共有を保ちながら生活をしていくことが大事

紅葉の中で優しく説明をしていただいた



きれいに手入れされた白樺の林



で不可欠であるかを改めて思わずにはいられなかった。

演習林内で見つけたトリカブトの花を携帯電話で撮影して収めたり、切り倒してあった白樺の枝を頂いたりもした。

先日帰省した娘に演習林の話をしながらかったドングリを見せてやると、早速娘がドングリに顔を書いてくれたので白樺の枝に付けて回想している。

帰り際に「春になったらまたお出掛けください」と言われた山本先生のスマイルが彷彿としてくる。都内に住む植物や虫好きな少年（孫）と再び演習林を訪れる機会がめぐってくることを想いながら…山本先生、本当にありがとうございました。

赤いハゼの葉をはじめ落ち葉やドングリの実



バス乗車定員一杯の研修参加者の記念撮影。



# 興津川の生き物の特徴は何？ よーく見よう！

静岡県建築士会清水支部 木村精治  
小川清貴

## 川崎市の「多摩川エコミュージアム」参加

今年は川崎市から「多摩川エコミュージアム」が視察を兼ねて初参加され、31人（静岡市18名、川崎市13名）の参加者がありました。

市民、行政が協働して共有財産である興津川を守り、次世代へ継承していくため「清流条例」が制定されたことをご存知だと思いますが、同じような取り組みや活動をしている団体との連携は、当セミナーとして初の試みでした。

毎年テーマや内容を変えているが、14回目となると慣れが生じてくるものだが、今年は心地よい緊張感がありました。

●観察（承元寺八幡橋付近）  
天気も良く、川にはいるのも気持ちが良い



## 協働で行われる川のセミナー

当セミナーは、興津川保全市民会議、大学、企業、行政などとの協働活動で行われます。「興津川を守り、育てていく」ことを目標に、各々専門性やネットワークを活かし、興津川をフィールドに人や情報が連携して活動を展開し、人との関係性が広がり強まっています。

## 大人も子供も学び合う関係が大切

そのための体験活動の第一歩がこの「川のセミナー」です。子供に学んでもらいつつ、大人も学ぶ、という学び合う関係が、興津川を守り育てる人の輪を広げていくのに欠かせない。そんな一面も持つセミナーです。

## 川や魚の専門家の講師陣

講師は、例年お願いしている東海大学海洋学部の永井先生、石井先生、大貫先生、そして新たに秋山先生と学生3人に加え、地質調査会社ジーベックの秋山さんです。

講師の皆さんは子供に優しく教えてくれます。“伝える方法”は相当な技術や経験があることなどと、教え方を見ていて毎年感心します。

●観察（承元寺八幡橋付近）  
みんなタモを持って川に入り魚を捕って来ます



●石についての話を熱心に聞く参加者



## 現地で学習が基本

セミナーは座学ではありません。現場が一番良く教えてくれます。今年は、川の上流と下流では水質や環境が違うため、生物の種類や数が違うことを学びました。

また川原の石はどのような種類、特徴、名前を持っているかを、石探し体験を通して学ぶ希少な「チャート」という石探しの時はみんな必死だった。



顕微鏡での観察の様子



### セミナーへの評価

参加者アンケートは「満足」の意見が多く、「時間が長いのに飽きない」との評価もある。「石探しが楽しかった」「石の種類や名前を知った」といった意見や、「きれいな川」「生物が豊富」「生物の特徴が理解できた」といういつものながらの意見もある。もう一つ“いつものながら”を言えば「流しソーメンが美味しかった」である。ソーメンを流す竹の前で陣取り合戦をする子供達の姿を見て、子供の頃を回想しつつ、陣取りに参戦した。



### 川崎市からの参加で感じたこと

また川崎市の人が「多摩川と違い興津川は本当にきれい。生物が沢山いて、同じ種類でも色が濃くてきれいでした」と言われて同じ生物でも違いがあることがわかり、大変良いセミナーになりました。しかし、時間の関係で十分な交流ができなかったことは、こうしたセミナーを行う上での課題であると感じた。

### 協働で成り立つセミナー

川のセミナーは当市民会議のメンバーと行政の協働による支えあいがなければ成り立たないといつも思う。感謝。感謝である。メンバーが得意分野を活かし、裏方で事務局が頑張ってくれるから継続できる。そして、参加した子供達の笑顔も続ける支えの一つだ。

### リピーターの参加者が「清流のうた」を

近年リピーターがあり、昨年参加の少年が今年もいました。ありがたい。彼は昨年同様、帰りのバスが解散場所に到着するまで「清流のうた」を歌ってくれた。とても素敵な声なので心地よく、気疲れから解放されてバスの中でしばらく眠ってしまいました。

(文責 木村)

### (川崎市からの参加にひとこと)

今回は川崎市から参加していただいて、ありがたかったです。交通事情や道迷いで清水への到着が遅くなったけど、川崎市の皆さんの熱意がとても感じられ、我々、興津川保全市民会議にも良い刺激になりました。(小川)



## 参加者 1,100 人でクリーン作戦

平成 21 年 9 月 5 日 (土) 残暑厳しい快晴の中、約 1,100 人の参加により、「興津川クリーン作戦」が実施されました。

平成 7 年から始まったこのイベントは、清水区の大切な水道水源である興津川のすばらしい自然環境を守るため、興津川保全市民会議と静岡市の共催により、地域住民や地元企業の社員、市職員が協力して、興津川流域の 10 会場で清掃活動を行うものです。

メイン会場の「和田島キャンプ適地」では、午前 9 時より開会式が行われ、遠藤日出夫興津川保全市民会議副会長、関清司静岡市環境局長にあいさつをしていただきました。

## 開会式の後、参加者は一斉に河原へ



## ゴミ袋を手に互いに手分けをして回収する



## クリーン作戦の開始

望月誠一郎興津川保全市民会議事業委員長から実施に伴う注意事項の説明があり、クリーン作戦が開始されました。

約 100 人の参加者が河原に行き、バーベキューをした人が残した鉄製の網や食材の袋の燃えかす、食用油を入れる缶などを回収しました。

炎天下の下、清掃活動は 1 時間程で終了し、参加者には、両河内のおいしい冷茶が振舞われ、乾いたのどを潤してもらい解散となりました。



## 10 会場で 1.2 トンのゴミを回収

全 10 会場で回収されたごみは 1,240kg (可燃ごみ 690kg、不燃ごみ 550kg) と、クリーン作戦開始当初に比べればごみの量は減ってきましたが、依然多くのごみが回収されている現実を目の当たりにすると、非常に残念に感じたのと同時に、この「興津川クリーン作戦」を毎年継続して実施することの意義を強く感じました。

## 互いに協力してゴミ拾いをした



## 自然の中での遊びと教育

興津川保全市民会議 事業委員 成瀬 修一

鳩山政権が「コンクリートから人へ」と唱え、また、地球温暖化に対しても、積極的な姿勢を打ち出していることは好ましい。

各種の資源に乏しい日本は、教育による高度な人材育成が国の存立に不可欠である。このためには、現在のようなマニュアル教育ではなく、創造力・独創性・感性などに富んだ人材を育てることが大切である。これには、子供たちを小さい時から自然の中で自由奔放に遊ばせ、体験から自ら学び取らせるやり方が効果的である。

生身の人間にとって自然は圧倒的な力を持ち、一人でこれに立ち向かうことは全く敵わない。そこで人間は、自然の中では自然をよく知り、自然と上手に付き合っこそ生きていくことができる。

### 自然は優れた教師

自然の中で遊んで過ごすことで、自然の雄大さ、厳しさ、美しさを知り、自然への接し方や利用の仕方、自然界の法則などを身につけることができる。さらに、自然から学ぶことで、人間社会でも必要な感性や判断力、認知力、忍耐力、適応力なども身につけられる。自然はまたとない優れた教師と言える。

ところで興津川保全市民会議では、毎年、川遊びや川での体験学習などを行っている。川や海、草原、森林などは、自然体験や環境教育の絶好の場所である。まだ日本各地には、このような自然が多く残されているので、もっと沢山の子供たちが自然の中に入っていき、自然を活用して、遊んだり学んだりしてほしいものである。

### ハチに刺されドクターヘリで搬送

今回、会場の1つである「西里キャンプ適地」の土手の茂みで清掃活動をしていた参加者の1人が、ハチに首など4箇所を刺され、気分が悪くなったため、ドクターヘリを要請して市内の総合病院に救急搬送される事故がありました。

幸いこの参加者は大事に至らなかったのですが、屋外で活動する際、ハチに刺され被害にあうことも少なくありませんので、もし刺された場合、傷口を流水（水道水など）でよく洗い流し、手で毒液を絞り出すなどの応急処置をした後、医療機関に掛かるようにして下さい。但し、この時、口で吸いだすと口内に傷があった場合、傷口から毒が体内に入るので危険です。

なお、毒液を吸引する器具が、アウトドアショップや森林組合で販売されていますので、携帯してみたいはいかがでしょうか。

最後になりましたが、炎天下の中、清掃活動をしていただきました多くの参加者の皆様にこの場をお借りして厚くお礼申し上げますとともに、今夏もぜひご参加いただきますようご協力をよろしくお願い致します。



川のセミナー参加者へ修了証を手渡す

# 「清流のうた音楽会」 開催報告

興津川保全市民会議 事業委員 塚口満智子

平成21年3月8日、清水文化センターに於いて多くのお客様を迎え、興津川保全市民会議主催「清流のうた音楽会」が開催されました。

振り返れば平成16年事業委員会議の折、10周年記念に何か残る物を作りたい、誰でもどこでも歌えるうたを作りたいと話し合い、チラシ、広報等で詩を募りました。川のイメージで静岡・清水で共生できる「清流のうた」と題名が決まりました。沢山の応募作品の中、石川忠さんが最優秀に選ばれ、浜田先生の作曲により「清流のうた」が誕生したのです。平成17年4月20日市民会議総会の折、作曲者浜田先生のピアノ伴奏、片平さんの美しいソプラノで初めて制作発表されました。以来、女性三部合唱、混声合唱、吹奏楽を静岡音楽館AOIで録音し、企画から完成迄平成16年から21年迄、およそ4年の歳月を要しました。

ご協力いただいたカンティアーマ常葉、静岡混声合唱団TERRA、吹奏楽の清水イルコンパーニョの皆様、ありがとうございました。みどり豊かな山々の・・・大勢の方に愛され、心にふる里を想い、暖かい気持ちをいつまでも忘れない、その様な歌を口ずさんでいきましょう。

最後は全員で大合唱となりました



## 「清流のうた」

作詞：石川 忠 作曲：浜田洋通

みどり豊かな 山々の  
森や林に 生まれ  
川よ 川よ 清流よ  
いつまでも自然の たたずまい  
ふるさとの美しい ああ川よ

お茶とみかんの 香る風  
空を飛び交う 鳥の声  
川よ 川よ 清流よ  
水遊び 鮎釣り せせらぎの  
思い出がよみがえる ああ川よ

橋を幾つも くぐり抜け  
やがて駿河の 海に出る  
川よ 川よ 清流よ  
これからも変わらず いてほしい  
ふるさとの美しい ああ川よ



カンティアーマ常葉

興津川保全市民会議の会員になり、「清流の都」づくりのため、一緒に活動してください。

法人、団体等会員 3,000円/年  
個人会員 1,000円/年

会員へは、「やませみ通信」他、年間を通じて各種イベント、企画の案内を送らせていただきます。  
また、清流のうたのCDなども特別価格にて提供します。

発行 興津川保全市民会議  
編集 興津川保全市民会議 事業委員会  
編集レイアウト (株)地域デザイン研究所(望月)  
発行日 平成22年3月

興津川保全市民会議事務局  
(静岡市清流の都創造課内)  
TEL. 054-221-1319  
FAX. 054-205-2666  
〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1



編集委員からひとこと・・・

「清流のうた音楽会」の開催や市民の森づくり、川のセミナーなど本年度もいろいろな活動を実施しました。ちょっと残念なのは、毎年好評の鮎釣り教室が雨のため中止になってしまったことです。